

平成30年度海外販売促進活動報告書

平成30年10月17日

全農インタナショナル(株)

米穀・園芸部

平成30年度海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 ： タイ(バンコク)

実施期間 ： 平成30年9月28日～10月15日

(フェアに係る出張 ： 平成30年10月3日～10月6日)



「タイ全農青果物フェア」

1. 『タイ全農青果物フェア』について

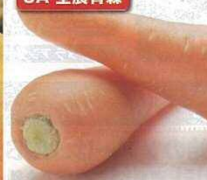
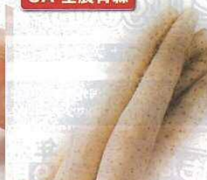
- (1) 期間 : 平成30年9月28日～10月15日
- (2) 場所 : 1. UFM Fuji Super 2号店
2. UFM Fuji Super 1号店
3. UFM Fuji Super 4号店
- (3) 出席者 : Daisho Tailand : 吉川 プロモーションチームリーダー
全農 : 輸出対策部 遠藤
全農インターナショナル(株): 米穀・園芸部 白石次長
- (4) 内容 : バンコクFUJISUPERの利用客にとっては例年の全農青果物フェアで今回は梨・りんご・柿他の青果物を使って販促活動を行った。
販促商品の他、通常販売の千葉県産梨300ケースも同梱した。
新鮮のものを提供するため、出荷は船便1回航空便3回に分けた。
現地フリーペーパーに事前広告を掲載し、集客を図った。
販促フェアは、現地プロモーターおよび日本よりの出張者による試食販売を通じ、日本産青果物の品質高さを宣伝した。
- ①出荷日程(船便)
8月30日、横浜倉庫へ納品・植物検疫。
8月31日、横浜倉庫でバンニング・通関。
9月2日、出港。
9月14日、ラッカバン(バンコク)港到着。
- ②出荷日程(航空便)
A 9月26日、羽田空港へ搬入・植物検疫・通関。
9月27日、出港・バンコク空港到着。
B 10月3日、羽田空港へ搬入・植物検疫・通関。
10月4日、出港・バンコク空港到着。
C 10月10日、羽田空港へ搬入・植物検疫・通関。
10月11日、出港・バンコク空港到着。
- ③出荷内容は別紙のとおり。

番号	商品名	産地	ケース 重量kg	数量
1	梨(豊水10玉)	千葉県	5	20
2	梨(豊水12玉)	千葉県	5	180
3	梨(豊水20玉)	千葉県	10	100
4	梨(豊水10玉)	三重県	10	12
5	りんご(紅ロマン、32玉)	岩手県	10	10
6	リンゴ(紅ロマン、36玉)	岩手県	10	20
7	柿(刀根早生、32玉)	和歌山県	7.5	19
8	柿(刀根早生、36玉)	和歌山県	7.5	14
9	ぶどう(ピオーネ、5kg)	山形県	5	24
10	大根	青森県	10	20
11	人参	青森県	10	22
12	長芋	青森県	10	20
13	カボチャ	岩手県	10	10
	着荷状態はおおむね良好であったが、ぶどうのピオーネは脱粒が目たち、 輸入会社と値引き交渉にて解決を図る。			

JA全農 日本全国で収穫される、今が旬の秋の味覚をぜひご賞味ください。

全農 果物&野菜プロモーション

9月28日(金) ▶ 10月15日(月) フジスーパー1号店・2号店・4号店

JAいわて中央	JA 全農山形	JA いがふるさと	JA 紀北かわかみ	JA 全農青森	JA 全農青森
 紅ロマン Lサイズ 1個 148B	 ピオーネ 1パック 650B	 豊水なし Lサイズ 1個 198B	 刀根早生柿 Lサイズ 1玉 138B	 にんじん Mサイズ 1kg 200B	 長いも 4Lサイズ 1kg 600B

※天候等の理由により価格の変更および入荷できない場合がございます。予めご了承ください。

●UFMフジスーパー1号店 (Sukhumvit Soi 33/1) ●UFMフジスーパー2号店 (Sukhumvit Soi 39) ●UFMフジスーパー4号店 (Sukhumvit Soi 49)

バンコク日本人コミュニティ向けフリー
 パーパーに掲載する全農フェア広告

フジスーパー4号店



現地プロモーターと全農職員による試食販売。



日青協のフルーツシールを活用。鮮度保持のため、輸入者の冷蔵車でタイムリーに商品補填する。



カボチャ1個で813パーツ(約3, 200円)、りんご1個で148パーツ(約590円)で販売価格設定。

フジスーパー1号店



店舗の入り口近く販促売り場を設け、入店客の目につきやすいところである。
また、近くのフルーツ棚でもフェア商品販売。
ピオーネぶどうは1房で650バーツ(約2,600円)を価格設定。



梨1個198バーツ(約790円)で販売。長芋は売り安いとため、真空パックの個包装して販売。



店長に日本産商品について要望を聞いた。
情報としては以下：

- ・今年野菜類について大根・人参・きゅうりは売れている。タイ産はすかすかでおいしくないため。
- ・しかし、タイ側の検疫条件がきびしくなる気配があり、その場合、人気のきゅうりは輸入しづらくなることを心配している。
- ・全農側は新たにみかんの提案をした。価格会えば、前向きに販売したいとのこと。

フジスーパー2号店



現地プロモーターによる試食販売。売り場は店舗入り口で比較的に広い場所を使用。



人参は2本パックで47バーツ
(約180円)で販売。日本の人参は
味が濃厚との評判。

2. その他

情報把握のため、バンコク内青果物市場見学。また市場責任者との意見交換の結果、試験的に市場直送提案すべく帰国後作業を進める。(全農インタナショナル)

トンローにある市場より以下情報入手:

- ・当初卸中心に考えた市場であったが、結果的に住民は車で買いに来る人が多く、今、小売りは70%を占めている。(リピートオーダー率は25%)
 - ・鮮度いいのが最大な武器である。魚の場合、前日成田空港到着・夜便で翌朝はトンロー市場に到着する。青果物の場合、検疫あるためそれよりリードタイムは1日余分かかる。
 - ・魚購入のついでに青果物買っていくお客様が多い。
 - ・課題としては青果物ロット調達量は少ないため、FTA協定による免税手続き上必要な産地証明書入手はスムーズではない。証明書ない場合、40%の関税かかる。
- この点について全農であれば産地証明書を取りやすいのではないかと期待している。

以上



オトコ市場、フルーツは輸入品が多かったが、日本産は販売していない。



トンロー市場入り口、小規模だが、日本品しか販売しない。



日本より直送した青果物内場。(トンロー市場)



トンロー市場の責任者との商談。